

き かわ 紀の川市



もも



うぐいす



きんもくせい



HPアドレス <http://www.city.kinokawa.lg.jp/>

市名の由来

「昭和の大合併」^{がっぺい}によって、昭和30年～32年に村が統合されてできた、打田町・粉河町・那賀町・桃山町・貴志川町の5町は、約半世紀弱の期間、それぞれに発展の道歩んできました。

そして、これまでの地方自治体の枠内では解決し難い課題が増大し、本格的な地方分権の時代を迎え、2005（平成17）年11月7日、紀ノ川流域の、この5町が合併して「紀の川市」が誕生しました。新しい市の名前は公募により、命名しました。

市章の由来

「紀」の文字をシンボライズし、紀ノ川の流れや澄んだ空をイメージしたブルーを基調に、中心から交流の輪が広がる様子を描いています。

市の紹介

紀の川市は、和歌山県北部に位置し、北は大阪府、西は和歌山市・岩出市に接し、人々が生活するうえで利便性に富み、清流、紀ノ川がもたらす豊かな恵みと美しい自然環境、長い年月にわたって育まれてきた伝統ある歴史・文化をはじめ豊富な地域資源を有しています。また、人口約7万人を擁し、和歌山県で3番目の人口規模を誇るまちです。



桃源郷

紀の川市は、温暖な気候と肥沃な土壌を活かし、農業のまちとして多種多様な農作物が生産され、「あら川の桃」をはじめハッサク・イチヂク・カキなどの果樹栽培やシクラメン・スプレー菊などの花のハウス栽培が盛んで、特に都市緑化用の植木や苗木は、近畿一の生産量を誇っています。

このように、農業を基幹産業とする紀の川市では四季折々の旬の食べ物が豊富に生産され、日本一の売り上げを誇る「めっけもん広場」をはじめ市内各地に農産物直販所があります。また、学校給食への地場産品の積極的な活用など地産地消の推進とともに食育への取組みを進めています。

さらに、粉河寺や紀伊国分寺跡などの文化財や全身麻酔を施し乳がんの摘出手術に成功した「華岡青洲」や歌人西行の生誕地としての文化遺産も多いまちです。

先人が築いてくれた歴史・文化を尊び、新たな時代に対応した暮らしと文化の創造、活気に満ちたまちづくりを目指して旧5町の市民が和の心をもって結ばれ、「恵まれた自然と豊かな伝統が息づくふるさと紀の川市」づくりが始まっています。



スカイスポーツ